

会議録

会議名	平成29年度 第1回 八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会	
日時	平成29年8月7日(月) 午後7時 ~ 8時30分	
場所	八王子市役所 本庁舎 502会議室	
出席者氏名	参加者	荒井富雄、石川敏之、伊藤史子、大島紀代、落合隆、澤昌秀、中庭光彦、沼崎明大
	事務局	小柳悟(都市戦略部長)、立川寛之(都市戦略課長)、今井明(都市戦略課主査)、荒船翔哉(都市戦略課主事)、興梶翔大(都市戦略課主事)
	その他市出席者	小浦晴実(市民活動推進部長)、豊田聡(子ども家庭部長)、木内基容子(産業振興部長)、守屋和洋(都市計画部長)
欠席者氏名	佐々木健、高橋新也、小山等(総合経営部長)	
議題	1. 開会 2. 八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について 3. その他 4. 閉会	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由	-	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	参加者名簿 資料1 八王子市の人口の現状 資料2 市政世論調査結果の分析 資料3 八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成28年度の実績	
会議の内容	別紙のとおり	

1. 開会

《新規参加者紹介》

【事務局】

（人事異動等による新規参加者の紹介及び挨拶）

2. 八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について

《説明》

【事務局】

（配付資料1～3についての説明）

《意見等》

【荒井氏】

- ・「町会・自治会加入率」が低下しているのは、市からの要望が多く町会・自治会の負担が大きすぎることで、高齢化によって担い手が不足しているなど、複合的な原因がある。
- ・町会・自治会の空白地帯については、行政側の働きかけが重要。
- ・加入率低下の対策としては、啓発活動等だけではなく根本的な改革が必要である。

【大島氏】

- ・地域のコミュニティが希薄になってきている。たとえばごみの回収について、今では市が各戸にごみを回収することになり、近所同士が顔を合わせる機会が減った。

【澤氏】

- ・「町会・自治会加入率」等について、パーセント表示となっているが、母数のデータはないのか。1%の減少といっても、抽象的ではないか。

【石川氏】

- ・「中心市街地歩行量」について、まちなか交流・活動拠点で活動したことがあったが、休日でも甲州街道の歩行者は少なかった。甲州街道の魅力を向上していく取組も必要。
- ・八王子農産物があまり認知されていないように感じる。道の駅についても、販売しているのは八王子産の農産物だけではないため、魅力に欠ける。

【産業振興部長】

- ・当時は、東京都内で唯一の道の駅ということで注目を集めたが、現在はねぎぼうずなど道の駅以外の場所でも農産物を販売している。
包括協定を締結したセブンイレブン・ジャパンと協力して八王子産の農産物のPRを行い、給食でも取り入れ、保護者にも発信していきたい。
- ・クラウド・ファンディングや体験学習フェスなど、発信の仕方を新たに検討していく。

【澤氏】

- ・販売者側の視点ではなく、なぜ八王子産の農産物を購入したのか調査を行うなど、消費者側の視点で考えることも必要。
- ・指標全般について、八王子全体のデータになっているが、エリア毎の分析も必要では。

（事務局から説明）

- ・道の駅を設立した10年前のアンケートでは、八王子産の農産物の購入理由は「安心・安全」を求めているものだった。

指標は八王子市全体のデータとしているが、エリアごとに分析していないわけではなく、例えば「八王子ビジョン 2022」では市を6つのエリアに分けて、それぞれの地域の個性を活かしたまちづくりを行うことを基本方針としている。

【伊藤氏】

- ・数値目標やKPIについて、どのような理由で設定したのかと、それぞれの数値の算出方法や算出根拠となる資料・出典等を示していただきたい。
- ・エリア別の分析が必要。また、数字で表すことのできない定性的なものもあるのではないか。

【荒井氏】

- ・こういった成果を出したい施策なのか、わかりにくいものがある。行政の縦割り組織が影響しており、総合戦略策定の目的を各所管がしっかりと理解することが必要。

【澤氏】

- ・総合戦略の40ページに人口減少の対策として「目指すべき将来の方向」が記載されているが、この目的を忘れて、各KPIの達成が目的になってしまっている印象を受ける。
- ・世論調査には、本当に不満を持っている人の声は出てこない。そのような方々の声をどのように拾っていくかが重要。

【荒井氏】

- ・高齢者に比べて、子育てに対する各施策が十分でないように感じる。

【中庭氏】

- ・それぞれの分野に応じてKPIを設定しているが、それらが人口減少の対策につながっているのかの妥当性について検証し、場合によっては見直す必要もある。
- ・総合戦略の全体像を把握する必要がある。
- ・「達成状況」と「今後の取組状況」については、具体的に分析することが重要。
例えば、「保育所等待機児童数」は昨年度実績と比べ減少しているが、平成31年の目標値が0人であることを考慮すると、達成状況は「遅れている(△)」になるのでは。

【沼崎氏】

- ・数値目標やKPIの分析・評価の表現が抽象的。また、個別で連動性が低く感じる。

3. その他

《説明》

【事務局】

- ・本日いただいた意見を反映し、9月上旬に報告書を作成する。
- ・これまで評価等を行っていただいた推進懇談会は、平成29年9月までで終了となる。平成29年10月からの推進懇談会は新たな委員により開催していく。現在、委員の公募や推薦を行っているところである。

4. 閉会